

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム たいよう作成日: 平成 28 年 8 月 12 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	15	職員を育てる取り組み	職員の入れ替わりが続き、介護技術に差があるので、知識や介護力の向上と、職員一人ひとりのモチベーションを高め、利用者が楽しく暮らせるホームを目指していく。	外部や内部の研修会に職員を交代で派遣し、知識の習得と意識の高揚に取り組み、職員のやる気に繋がる職場環境を整え、資格取得のためのバックアップ体制を図っていく。	12ヶ月
2	3	運営推進会議を活かした取り組み	参加委員が固定化してるので、新しい委員を招聘し会議を活性化して、ホームの運営だけでなく、参加委員にとっても、有意義な役に立つ会議になるように取り組んでいく。また、家族が参加出来る体制を整えていく。	地域で活動している有識者や知見者、複数の民生委員、薬剤師等から参加委員を募り、充実した会議として、ホームの運営や参加者の知識の習得に繋げ、参加したくなる会議を目指していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。